



# 手城小だより

福山市立手城小学校  
2024年(令和6年)  
7月29日(月)

【学校教育目標】 自他を認め合い、主体的に生きる力をもった児童の育成

## ～ようこそ先輩～ その道のプロに学ぶ



【5年生】木版画（彫刻刀の使い方を学ぶ）



【1年生】掃除の仕方を学ぶ



【1年生】ばらを描こう（ばらの花・茎・葉の描き方を学ぶ）



1学期もたくさんの方を講師にお招きして、ご指導いただきました。その道のプロというのは、豊富な経験と優れた能力をもつ方のことで、子供たちがそういった方から直接ご指導受けることはとても意味深いと考えています。

福山幼年美術の会の杉原明美先生、栗田美穂子先生には、1年生に絵画「ばらの描き方」を教えていただきました。株式会社ダスキン福山の方には、1年生に「おそうじについて学ぼう」と掃除の極意を教えていただきました。サラダ文教社の皿田弘美様には、彫刻刀の使い方を具体的に提示していただきながら、木版画についてご指導いただきました。

子供たちは、聞き漏らさないよう、真剣に話を聞き、実践に生かそうとしていました。

# 保護司の活動ー安全で安心な地域社会をめざしてー



7月26日(金)5年生が福山地区保護司会の方々をお招きして、犯罪や非行をした人の立ち直りを支える民間ボランティアである保護司の活動や非行防止についてお話いただきました。

「万引き、SNSでの悪口・いじめ、詐欺、暴力、窃盗、暴走行為は全て犯罪です。犯罪や非行には孤立や虐待などの生きづらさが背景にあります。」「もう二度と同じことを繰り返さないよう再出発を支えるために保護司がいます。」と内海博文先生が語りました。



夏休みに特に気を付けてほしいことを子供たちの身近な例を劇にしてくださいました。お母さんの財布から黙ってお金を抜き取ってしまったショウくんやゲームにはまってアイテム欲しさに内緒で大金の課金をしてしまったレイくんを例にあげながら、みんなで問題点を考えました。

「勝手に課金することは、親の財布からお金を取るのと同じです。課金は親の許可が必要です。」「スマホやゲームは家の人とよくルールを話し合ってから決めましょう。」「お金には限りがあります。本当に欲しいものをよく考えて。」と夏休みの注意点を話されました。

## 「一人じゃないよ」 みんながあなたのサポーター

講演の最後に保護司や更生保護女性会の方から子供たちへメッセージをいただきました。

「友達からの誘いでも、犯罪につながるもの、よくないものには勇気をもってきっぱり断って。」

「二度と犯罪を犯すことがないように支え、少しでも犯罪を減らしていきたい。」

「手城には町内会、自治会、子供の見守り、子供会など色んな立場からみんなを見守っています。親、先生、保護司など頼れる人はたくさんいます。多くの人がみんなを支えているのを忘れないでください。」

「居場所がない、寂しい人が周りにいないか、まずクラスみんなで支え合ってください。」

「健やかに育つように優しい人になってください。」と話され、子供たちは真剣なまなざしで聴いていました。

